

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 036	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 シクラメンの摘葉技術の確立	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 シクラメンについて、7月頃から摘葉することにより、中心部に光を当て芽吹きをよくするとともに、出荷時に黄化するような古葉を事前に除去することで、葉枚数と草姿をコントロールし、葉組みの省力化を行っている生産者が増えている。しかし、品種や実施時期、摘葉量等が、生産者により違うため、安定した技術と云えず、実施を控える生産者も多い。そこで、品種や時期、摘葉量等と草姿の関係の栽培試験により、適切な摘葉方法の確立が求められている。 シクラメン生産者 90戸	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名 農業技術センター	担当部所 生産技術部果樹花き研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 消費者ニーズに応える高品質・安定生産技術の開発	
対応の内容等 シクラメンの摘葉処理による草姿コントロールにつきましては、平成12年度に‘バニーピンク’を用いて試験を実施し、その効果を確認しました。ただし、現地栽培品種が変わっており、また品種によって効果に差があるとの知見もあることから、本県で現在栽培されている主要な品種につきまして、試験を実施します。	
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備考	